

家畜改良センター岩手牧場で見学および研修を受ける方へ

近年、日本国内外において重大な家畜の疾病が発生しています。これら疾病の病原体の中には非常に伝染力の強いものもあり、多くは人や車によって運ばれ、発生するとされています。

現在、岩手牧場では日本の乳牛改良に関わる非常に育種的価値の高い乳用牛を飼養しており、重大な疾病が場内に侵入すれば当場の業務のみならず、わが国の酪農業にも深刻な影響を与えることとなるため、場内に「衛生管理区域」を設け、人及び車両の出入りを厳しく制限しております。

このようなことから、当場で見学及び研修を受ける方は、以下の事項を遵守していただきますようお願いいたします。

- 1 来場当日は他の畜産関係施設（自宅の畜産施設を含む）に立ち入らないで下さい。また、当日もしくは前日に入浴・洗髪を確実に実施してください。（衣服は洗いたてのものを着用し、靴は牛舎等で使用していないものを履いてきてください。）
- 2 他の畜産関係施設へ持込んだものは当場内へ持ち込まないでください（洗濯または消毒を実施したものは除く）。また、過去4か月以内に海外で使用した衣類及び靴を着用してこないでください。
- 3 来場中は、事務所内で手指消毒及びビニール手袋を着用し、場内専用の作業着、長靴を着用していただきます（岩手牧場で用意します）。また、場内専用長靴、作業着で牧場外へ出ないでください。
- 4 場内には来場者の立ち入り禁止区域を設定しております。見学、研修に必要な場所以外には立ち入らないでください。移動は場内車両・自転車を使用し、原則として職員が同伴します。
- 5 来場日を含め7日以内に海外への渡航（旅行）をした者は、岩手牧場の「衛生管理区域」への立ち入りはできません。
- 6 その他の防疫措置については職員の指示に従ってください。